

平成17年度事業計画の概要

目 次

1. はじめに	1
2. 事業計画の概要	2
3. 高速道路事業の概要	
3－1. 高速道路の新設、改築	3
3－2. 高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理	4～5
4. 高速道路事業以外の事業の概要	
4－1. 高速道路の休憩所、給油所等の建設・管理	6
4－2. 国などの委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等	6
4－3. その他の事業	6
5. 事業計画概要一覧表	7
6. 資金計画書	8
7. 収支予算書	9

平成17年11月

中日本高速道路株式会社

1. はじめに

○半世紀におよぶ日本道路公団の歴史に幕が下り、その分割民営会社として平成17年10月1日、「中日本高速道路株式会社」が、新しい歴史を歩み始めました。

○「債務を確実に返済する」、「民間企業としての経営判断をし、経済合理性に基づいた優先順位をつけて道路建設を行う」、「民間のノウハウを生かした合理化・効率化を通じてお客様サービスの向上を図る」— この3つの目的を、効率的な企業運営と徹底したコスト意識を基軸として、必ず実現します。そして、民営化直前に起きた談合事件を踏まえ、あらゆる不正行為を根絶するとともに、真に国民の皆様方、そして高速道路を利用されるお客様のために働いているのかを自らに厳しく問い直し、全力を尽くして企業の社会的責任を果たしていきます。

○私たち中日本高速道路株式会社は、大都市圏を結ぶ東名や名神、中央道などを始めとした高速道路を、常に安全・安心にご利用いただけるよう管理・運営するとともに、第二東名・名神などを整備し、信頼性の高いネットワークを構築します。また、より便利で楽しい道路空間の創造を目指して、SA・PAでは地域と連携した新たなサービスを展開します。そして、地域社会の発展と暮らしの向上に、さらには広く日本経済全体の活性化に貢献し続けていきます。

○私たちは、こうした取り組みを通じ、今まで以上に高品質な高速道路運営をしていきたいと考えております。そのためにも、役員・社員一人ひとりが気持ちを引き締め、できることは何でもチャレンジできる社風を築いていきたいと考えています。

2. 事業計画の概要

○事業計画について、高速道路株式会社法（以下、「会社法」という）第10条に基づき、中日本高速道路株式会社（以下、「会社」という）では、平成17営業年度（平成17年10月1日～平成18年3月31日）の事業計画を定め、国土交通大臣の認可を平成17年11月1日に受けました。

○平成17営業年度の事業計画は、全体として約3,834億円の事業費を予定しており、うち高速道路事業は約3,696億円です。

○資金計画は、合計2,791億円の資金を政府からの政府保証債や民間の金融機関を通じて調達する予定です。

○収支予算については、当期純利益として約8億円を見込んでいます。

○今回の事業計画のうち高速道路事業については、平成17年度の日本道路公団事業を継続的に実施することを基本とし、平成17年9月30日に国土交通大臣により策定された暫定協定（日本道路公団等民営化関係法施行法第24条）の内容に従い、計画しています。

3. 高速道路事業の概要

- ・平成17営業年度における高速道路事業は、「高速道路の新設・改築」と「維持、修繕、災害復旧その他の管理」で構成されており、全体で約3,696億円の事業費を予定しています。

3. 1. 高速道路の新設、改築

平成17営業年度の高速道路の新設、改築事業については、事業費約2,792億円を予定しており、信頼性の高い道路ネットワークの構築に努めてまいります。

- ・平成17営業年度の高速道路の新設は、第二東海自動車道など12道路526kmの区間、改築は東海北陸自動車道18kmの区間で、合計事業費約2,792億円を予定しています。

- ・事業実施においては、平成15年3月の「新たなコスト削減計画」（JH策定）並びに、同年12月の「政府・与党申し合わせ」を踏まえた建設コスト削減メニューを積極的に工事などに反映させています。

（メニュー例）

- ・トンネル、橋梁、舗装に関する技術基準の見直し
- ・トンネル設備など諸施設の仕様・基準の見直し
- ・新技術の活用による施工法の見直し など
- ・また、関係機関などとの連携を図り実施するメニューについても、設計検討を進めており、順次、地元・関係機関との協議・調整を実施して参ります。

（メニュー例）

- ・縦断線形の見直しによる盛土高さの縮小、橋梁から盛土への変更
- ・施工形態の見直し（6車線区間の4車線施工） など
- ・更に、地域性を踏まえた、動植物の生育・生息空間の保全や、周辺植物種子から育成した苗木による緑化などで、自然環境との調和を図ります。盛土のり面の樹林化により、地球温暖化防止などの環境保全にも寄与します。

- ・なお、平成17営業年度における新設・改築事業は、会社が承継した事業を国土交通大臣が策定した暫定協定に基づき継続して実施するものです。

平成17年度 開 通 ・ 完 成 予 定 区 間

<新規開通予定>

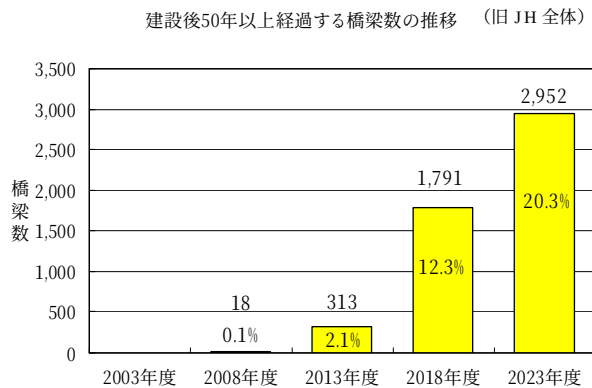
高規格幹線道路等名	区 間	延長(km)
近畿自動車道 紀勢線	おおみやおおだい 大宮大台※1 ～勢和多気JCT※1	13.4

※1 開通予定区間のインターチェンジ等の名称については仮称。

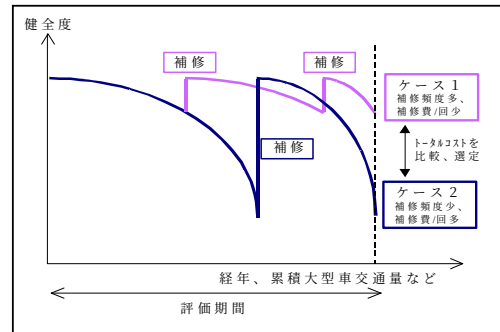
3. 2. 高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理

平成17営業年度の維持、修繕、災害復旧その他の管理事業については、事業費約904億円を予定しており、安全で安心できる高速道路を良好に管理してまいります。

- ・平成17営業年度の管理延長は、中央自動車道などを含む計17道路1,673kmあり、これに対し、修繕の事業費約192億円、維持その他の管理の事業費約712億円を予定しています。
- ・いつも、お客様に安全と快適を実感していただけるよう、常に良好かつ快適な路線の維持に努めるとともに、騒音低減効果や雨天時の事故防止効果の高い高機能舗装の整備や重大事故防止対策として中央分離帯などに設置する強化型防護柵の整備を進めます。
- ・道路構造物の老朽化への対応として、道路構造物の延命化や管理コストの平準化、ライフサイクルコストの最小化を図るマネジメント手法を早急に導入するなど、更新時代に対応した効率的・効果的な道路管理に取り組みます。



【道路構造物のライフサイクルコスト (イメージ)】



- ・平均1割程度の高速国道料金引き下げのために、日本道路公団が導入した各種割引制度を引き継ぎ、その上で債務の確実な返済に支障を与えない範囲において、ETCを活用した弾力的な料金施策の導入に努めるとともに、ETCの利用促進を図っていきます。
- ・平成15年度から3ヵ年計画で取り組んできたコスト削減計画については、「人件費単価や人員配置体制の見直し」、「清掃頻度の見直し」など、可能なものは速やかに実施する方針です。これまで約3割のコスト削減を達成してきましたが、業務内容を更にきめ細かく見直し、民間企業としての知恵と工夫を駆使し、更なる効率性を追求していきます。
- ・これまでは事業を実施することによって直接発生した金額や延長など(アウトプット)を表す指標を用いて施策や事業の評価を行ってきました。今後は、渋滞の緩和・解消といった事業の実施により発生する効果や成果(アウトカム)を表す指標を導入することにより、より効果的、効率的な事業執行に努めてまいります。

(参考)

＜道路管理に関する検討中の主なアウトカム指標※¹＞

アウトカム指標	定 義	H 1 6 年度（実績値）
本線渋滞損失時間	本線渋滞※ ² が発生することによる利用者の損失時間※ ³	7,674 千台・時間／年
路上工事による車線規制時間	道路 1 k m あたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	87 時間／（k m ・年）
E T C利用率	E T C導入済み料金所における E T C利用者の割合	36.8%※ ⁴
死傷事故率	走行車両 1 億台キロあたりの死傷事故件数※ ⁵	10.0 件／億台キロ
舗装保全率	舗装路面の健全度※ ⁶ を表す車線の延長比率	88%
橋脚補強完了率	古い基準を適用した橋梁で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	95%
利用時間確保率	道路が利用可能な時間※ ⁷ の比率	99.9%
顧客満足度	C S調査等で把握する維持管理に関するお客様の満足度	3.5※ ⁸ （5段階評価）

※ 1 今後、目標値などの設定にあたっては、平成 1 7 年度末までの管理コスト 3 割削減の状況を踏まえて設定してまいります。

※ 2 高速道路では、時速 40k m 以下で低速走行あるいは停止・発進を繰り返す車列が 1k m 以上かつ 15 分以上継続した状態をいいます。

※ 3 損失時間は、渋滞通過のために生じた遅れ時間を、法定速度と渋滞時の平均走行速度（2 5 k m/h）の差で算定した時間と影響台数で積算した年間総損失時間をいいます。

※ 4 平成 1 7 年 3 月平均利用率を示しています。

※ 5 会社が管理する道路のうち一部は除かれています。また、2 つの会社にわたる道路については走行台キロ比で事故件数を按分しています。

死傷事故率は、平成 1 6 年 1 月～ 1 2 月までの年間の事故率を示しています。

※ 6 舗装の健全度とは、概ね 5 年以内には舗装補修を必要としない状態をいいます。

※ 7 降雨、降雪に因る通行止め（災害、地震等を除く）と、事故や工事による通行止を除く、通行可能な時間をいいます。

※ 8 東日本・中日本・西日本高速道路㈱の全体平均値です。

4. 高速道路事業以外の事業の概要

- ・平成17営業年度における高速道路事業以外の事業については、「高速道路の休憩所、給油所等の建設・管理」と「国等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等」、「その他事業」で構成されており、全体で約138億円の事業費を予定しています。

4. 1. 高速道路の休憩所、給油所等の建設・管理

平成17営業年度の休憩所、給油所などの建設・管理事業については、事業費約18億円を予定しています。

○SAPA事業の方針

- ・清潔感のあるきれいな店舗で、真心を込めた接客サービスに取り組みます。
- ・お客様ニーズの高い販売商品と飲食メニューの充実に努めます。
- ・地域色豊かな名産品・特産品を、地元の方々と協力してご提供します。

○事業概要

- ・平成17年度営業年度においては、中央自動車道談合坂サービスエリアなど計162ヵ所の既存サービスエリア・パーキングエリアの適正な管理を実施するために事業費約18億円を予定しています。

4. 2. 国などの委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等

平成17営業年度の国などの委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等事業については、事業費約119億円を予定しています。

- ・平成17営業年度の国などの委託に基づく道路の新設は、近畿自動車道紀勢線21km（尾鷲北～紀伊長島）の新設（新直轄方式）や関係機関との事業調整により会社で受託する工事（※5）など、事業計画として約119億円を予定しています。

（※5）「高速自動車国道近畿自動車道名古屋関線及び第二東海自動車道名古屋線、一般国道302号並びに名古屋市道等が相互に関連する部分の建設工事の施行に関する細目協定」に基づく工事 など

4. 3. その他の事業

平成17営業年度のその他の事業については、事業費約4900万円を予定しています。

- ・平成17営業年度のその他の事業計画は、既存事業として金沢のトラックターミナル事業1ヵ所、また新規事業としては、占用施設活用事業（高架下の駐車場や倉庫など）とWebサイトなどを活用した広告事業で、約4900万円の事業費を予定しています。

5. 事業計画概要一覧表

○高速道路事業

事業区分	事業の概要（実施の方法・事業量）	所要資金の額
高速道路の新設、改築	東海北陸自動車道など計12道路526kmの新設 （このうち、近畿自動車道尾鷲勢和線（大宮大台～勢和多気）13.4kmを平成17年度供用予定） 東海北陸自動車道18kmの改築	2,792
高速道路の維持、修繕、災害復旧 その他の管理	中央自動車道など計17道路1,673kmの維持、修繕等	904
高速道路株式会社法第五条第2項 に規定された以外の高速道路にお ける新設、改築		—
高速道路株式会社法第五条 第2 項に規定された以外の 高速道路 における維持、修繕、災害復旧等		—
合計 A（道路事業）		3,696

○高速道路以外の事業

事業区分	事業の概要（実施の方法・事業量）	所要資金の額
高速道路の休憩所、給油所 等の建設・管理	中央自動車道談合坂サービスエリアなど計162箇所のサー ビスエリア・パーキングエリアの管理	18
国、地方公共団体等の委託 に基づく道路の新設、改 築、維持、修繕等	近畿自動車道の新設に関する受託工事、「平成17年度高速自動 車国道近畿自動車道名古屋関線及び第二東海自動車道横浜名古 屋線並びに一般国道302号（名古屋南～高針）建設（その8） 工事」に基づく受託工事ほか	119
高速道路株式会社法第五 条 第2項に規定された以 外の高速道路の休憩所、給 油所等の建設・管理		—
その他の事業	トラックターミナル事業1箇所（金沢）、占用施設活用事業、広 告事業	0.5
合計 B（道路事業以外）		138

合計（A＋B）（全事業）		3,834
--------------	--	-------

6. 資金計画書

平成17営業年度の資金計画書は下記のとおりです。

単位：億円

科 目	金 額		
	合計	高速道路事業	高速道路事業以外
収入の部			
前期繰越金	899	899	
高速道路事業営業収入	2,807	2,807	
道路料金収入	2,807	2,807	
関連事業営業収入	155		155
SA・PA事業収入	35		35
その他の事業収入	1		1
受託事業収入	119		119
社債・借入金	2,791	2,791	
政府保証債	2,037	2,037	
政府からの無利子借入金			
機構からの無利子借入金			
自主調達資金	754	754	
その他収入			
合 計	6,652	6,497	155
支出の部			
高速道路建設費	2,792	2,792	
新設・改築費	2,672	2,672	
一般管理費	74	74	
支払利息等	46	46	
高速道路営業管理費	904	904	
修繕費	192	192	
維持管理費	335	335	
業務管理費	244	244	
その他管理費	16	16	
一般管理費	111	111	
支払利息等	6	6	
道路資産賃借料	1,776	1,776	
関連事業営業費	138		138
SA・PA事業営業費	18		18
その他の事業営業費	0		0
受託事業営業費	119		119
社債等償還金	21	14	7
次期繰越金	1,021	1,011	10
合 計	6,652	6,497	155

※端数処理の関係により合計が合わない場合があります。

7. 収支予算書

平成17営業年度の収支予算書は下記のとおりです。

単位：億円

科 目	金 額		
	合計	高速道路事業	高速道路事業以外
経常損益の部			
（営業損益の部）			
I. 高速道路事業営業損益			
1. 営業収益	3, 2 5 5	3, 2 5 5	
料金収入	2, 8 9 1	2, 8 9 1	
道路資産完成高	3 6 4	3 6 4	
その他の売上高			
2. 営業費用	3, 2 4 9	3, 2 4 9	
道路資産賃借料	2, 0 2 9	2, 0 2 9	
道路資産完成原価	3 6 4	3 6 4	
管理費用	8 5 6	8 5 6	
高速道路営業利益	6	6	
II. 関連事業営業損益			
1. 営業収益	2 8 6		2 8 6
SA・PA事業収益	3 4		3 4
その他の事業収益	1		1
受託事業営業収益	2 5 1		2 5 1
2. 営業費用	2 7 2		2 7 2
SA・PA事業営業費	2 0		2 0
その他の事業営業費	0		0
受託事業営業費	2 5 2		2 5 2
関連事業営業利益	1 4		1 4
全事業営業利益	2 0	6	1 4
（営業外損益の部）			
1. 営業外収益			
2. 営業外費用	7	6	2
経常利益	1 3	0	1 3
特別損益の部			
1. 特別利益	0	0	0
2. 特別損失	0	0	0
税引前当期純利益	1 3	0	1 3
法人税、住民税及び事業税	5	0	5
法人税等調整額	0	0	0
当期純利益	8	0	8

※端数処理の関係により合計が合わない場合があります。

参 考 資 料

参一 1 中日本高速道路株式会社 概要

参一 2 中日本高速道路株式会社 道路網図

参一 3 供用区間概要

・近畿自動車道紀勢線 大宮大台～勢和多気 J C T

中日本高速道路株式会社 概要

◎組 織 概 要

商 号：中日本高速道路株式会社
(Central Nippon Expressway Company Limited)
代 表 者：代表取締役会長 近藤 剛
代表取締役社長 高橋 文雄
従 業 員 数：2,300人
本 社 所 在 地：名古屋市中区錦2丁目18番19号
資 本 金：650億円
設 立 年 月 日：平成17年10月1日
目 的：高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する

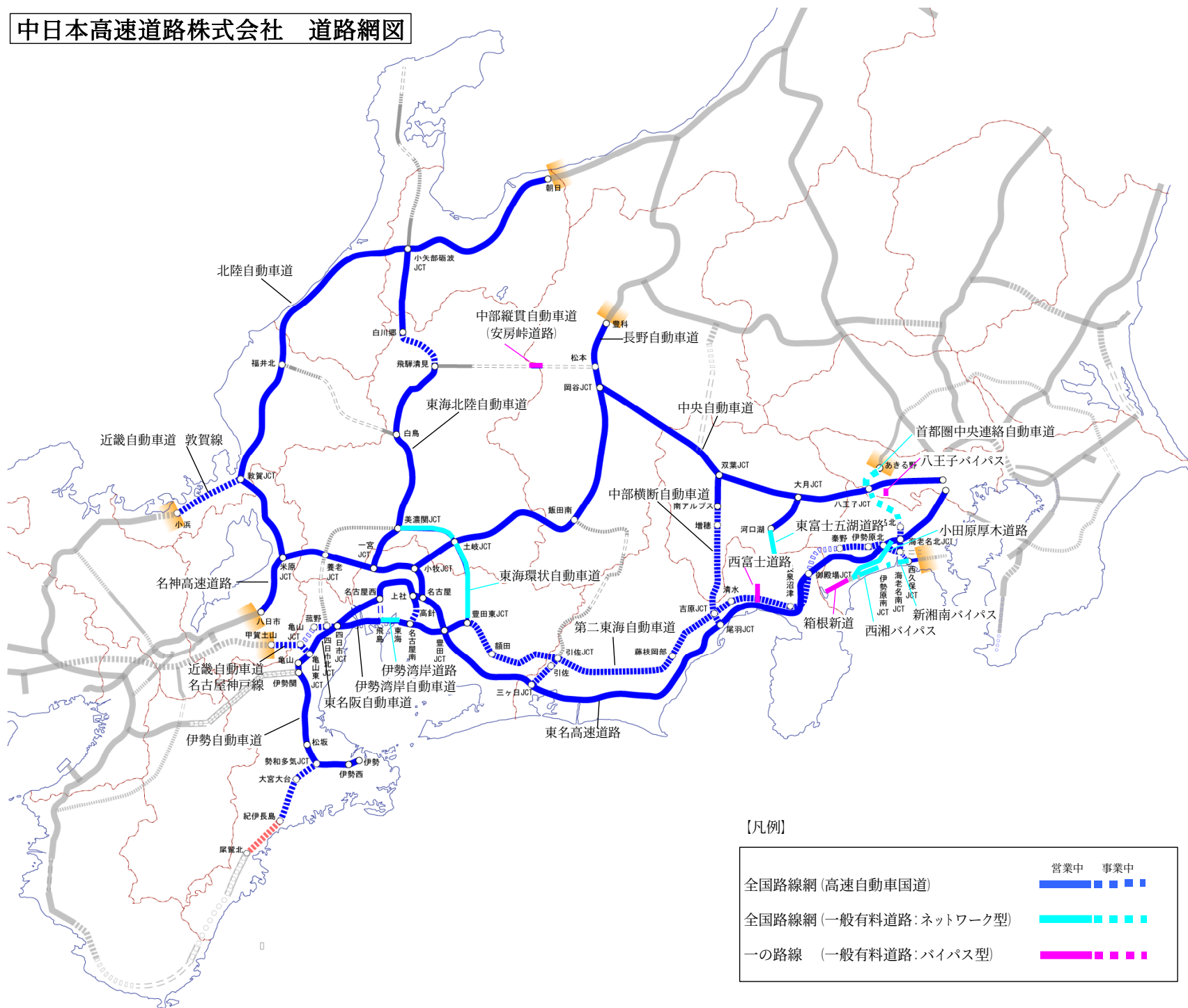
◎役 員 紹 介

代表取締役会長	近藤 剛	監 査 役	石塚 博司
代表取締役社長	高橋 文雄	監 査 役	川口 文夫
専務取締役	山本 正明	監 査 役	高橋 達治
常務取締役	別府 正之助		
常務取締役	原田 裕		

◎事業データ

項 目			備 考
営業延長 [km]			1,673 H17.10.1 現在
利用台数 [万台/日]			160 H16 年度実績
営業収入 [億円]			6,400 H16 年度実績
建設延長 [km]			526 H17.10.1 現在
休憩施設	施設数 [箇所]	SA(サービスエリア)	48 H17.10.1 現在、上下線別
		PA(パーキングエリア)	114 H17.10.1 現在、上下線別
		合 計	162 H17.10.1 現在、上下線別
	売上高 [億円]		1,300 H16 年度実績

中日本高速道路株式会社 道路網図



【凡例】

全国路線網 (高速自動車国道)	営業中	事業中
全国路線網 (一般有料道路: ネットワーク型)		
一の路線 (一般有料道路: バイパス型)		

供 用 区 間 概 要

近畿自動車道 紀勢線 [※] ^{おおみやおおだい}（大宮大台 [※] ^{せいわたき}～勢和多気JCT） [※]

○開通区間 三重県^{たき}多気郡^{せいわ}勢和村から

三重県^{たき}多気郡^{おおだい}大台町まで

○延長 13.4km

○幅員及び車線数 3.5m×2車線

○設計速度 80km/h

○インターチェンジ 1箇所

[※]
^{おおみやおおだい}大宮大台IC — 三重県多気郡大台町（一般国道42号に連結）

なお、勢和多気IC（既設）は、延伸に伴い形状変更している。

※ 工事中の施設名称は、仮称である。

